【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2005-525752(P2005-525752A)
【公表日】平成17年8月25日(2005.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2005-033
【出願番号】特願2004-504504(P2004-504504)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｑ　9/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/44　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｑ　9/00　３０１Ｅ
Ｈ０４Ｎ　5/00　Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/44　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月9日(2006.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
緊急のイベントを示す信号を含む周波数に同調する手段と、
外部の装置を制御する制御信号を送信する手段と
を有する装置。
【請求項２】
請求項１に記載の装置であって、
前記送信する手段が前記制御信号を送信する間に、前記同調する手段が前記緊急のイベントを示す前記信号を有する前記周波数に同調する装置。
【請求項３】
請求項１に記載の装置であって、
前記緊急のイベントを示す前記信号に応じて、警報出力が提供される装置。
【請求項４】
請求項３に記載の装置であって、
視覚出力を提供する手段を更に有し、
前記警報出力が前記視覚出力を提供する手段を介して提供される視覚出力を有する装置。
【請求項５】
請求項３に記載の装置であって、
聴覚出力を提供する手段を更に有し、
前記警報出力が前記聴覚出力を提供する手段を介して提供される聴覚出力を有する装置。
【請求項６】
請求項１に記載の装置であって、
前記緊急のイベントを示す前記信号が、前記外部の装置から提供される装置。
【請求項７】

請求項１に記載の装置であって、
前記緊急のイベントを示す前記信号が、前記外部の装置以外の情報源から提供される装置。
【請求項８】
装置を制御する方法であって、
緊急のイベントを示す信号を含む周波数に同調するステップと、
前記緊急のイベントを示す前記信号を含む前記周波数に同調する間に、前記装置を制御する制御信号を送信するステップと
を有する方法。
【請求項９】
請求項８に記載の方法であって、
前記緊急のイベントを示す前記信号に応じて、警報出力を提供するステップを更に有する方法。
【請求項１０】
請求項９に記載の方法であって、
前記警報出力が、視覚出力を有する方法。
【請求項１１】
請求項９に記載の方法であって、
前記警報出力が、聴覚出力を有する方法。
【請求項１２】
請求項８に記載の方法であって、
緊急警報信号が、前記装置から提供される方法。
【請求項１３】
請求項８に記載の方法であって、
緊急警報信号が、前記装置以外の情報源から提供される方法。
【請求項１４】
緊急のイベントを示す第１の信号を含む周波数に同調する手段と、
装置に含まれ、前記緊急のイベントを示す第２の信号を遠隔制御装置に送信する手段と
を有する装置。
【請求項１５】
請求項１４に記載の装置であって、
前記送信する手段が、前記遠隔制御装置の緊急警報機能を起動するために、前記第２の信号を前記遠隔制御装置に送信する装置。
【請求項１６】
請求項１５に記載の装置であって、
前記送信する手段が、前記装置の複数の動作モードのうちのいずれかの１つで、前記第２の信号を前記遠隔制御装置に送信する装置。
【請求項１７】
請求項１６に記載の装置であって、
前記複数の動作モードが、前記装置のオンのモードを有する装置。
【請求項１８】
請求項１６に記載の装置であって、
前記複数の動作モードが、前記装置のオフ／スタンバイのモードを有する装置。
【請求項１９】
請求項１６に記載の装置であって、
前記複数の動作モードが、前記装置の再生モードを有する装置。